

アキミスト
AKIMist®“E” TN
ドライフォグポータブル加湿セット

取扱説明書



このたびは、“霧のいけうち”のAKIMist®“E” Tセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

1. 安全上の注意	1
2. 特長	2
3. 組立ての前に	2
4. 完成見本	3
5. 設置前の注意事項	4
6. 組立方法	5
7. ご使用方法	10
8. お手入れ方法	13
9. 「故障かな？」と思ったら	14
10. 仕様	14

1. 安全上の注意



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告

- ・液加圧タンクの空気圧は0.2MPa以下

空気圧をかけすぎるとタンクが破裂する恐れがあります



- ・液を入れるときは加圧タンク内の圧縮空気を抜く

タンクのキャップが飛び出す恐れがあります

- ・水以外の液体を使用する際は、使用前に接液部の耐薬品性をご確認ください

タンクの腐食・破損・破裂、チューブ・ノズル等の破損につながります



注意

- ・ノズルの分解時は、圧縮空気、液を止めてから

ノズルの破裂、液漏れの恐れがあります。

- ・使用環境に注意してください

温度(5°C以上40°C以下)

湿度(80%以下)

ホコリが少ないこと

酸・アルカリ・有機溶剤の雰囲気でないこと



2. 特長

- ・簡単・手軽な操作で多量の霧(ドライフォグ)を発生させることができます。
- ・軽量・コンパクトなので、持ち運びも容易です。
- ・組立方法は、いたって簡単です。

3. 組立ての前に

組立て前に、梱包品をご確認ください。
 納入漏れがある場合は、お手数ですがご連絡をお願いします。

 <p>加湿器AKIMist®“E”本体</p>	 <p>液加圧タンク</p>	 <p>伸縮ポール スタンド台</p>
 <p>スパイラルホース AE取付ユニット</p>	 <p>お掃除セット 六角レンチ シールテープ 固定用ビス(2個)</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>

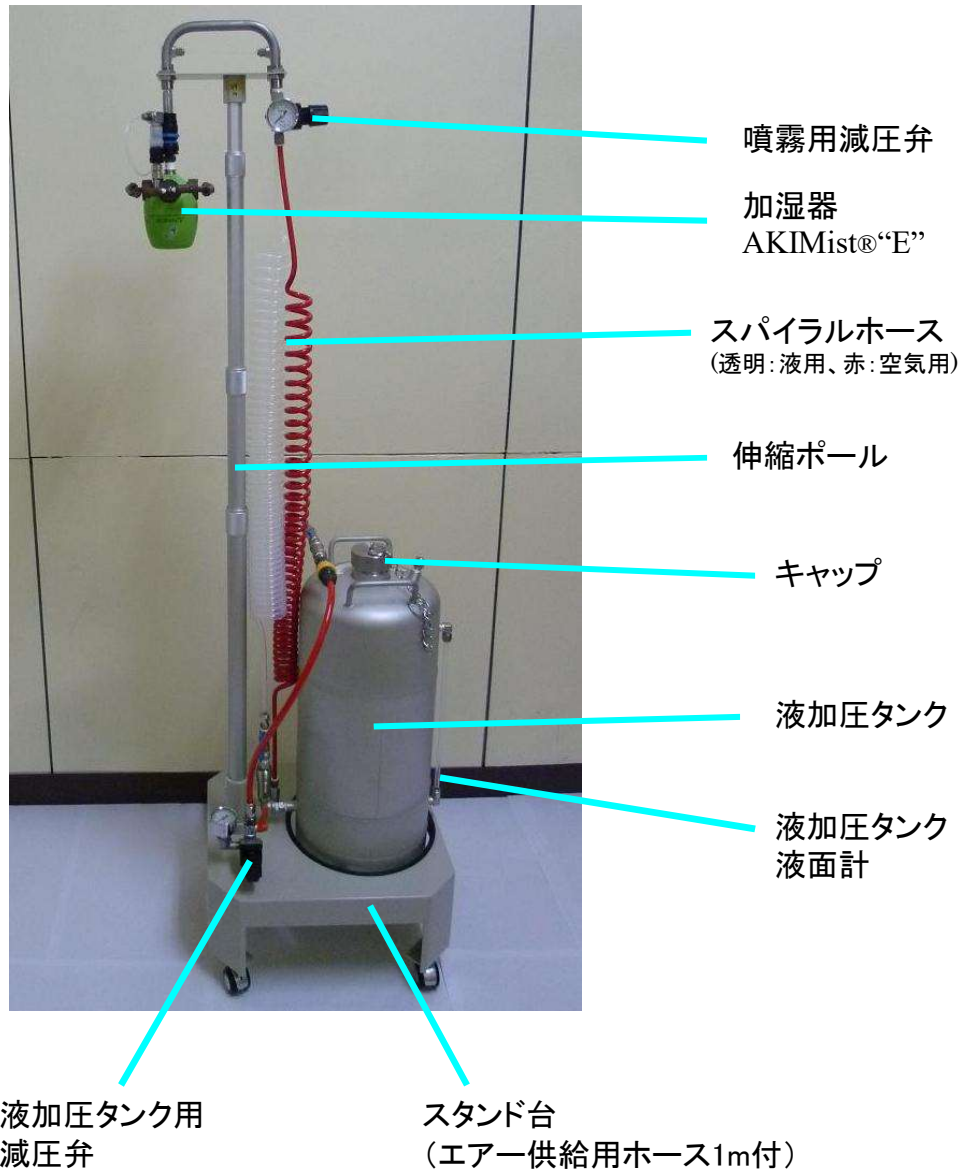
※コンプレッサーはオプション(別売)です。

※コンプレッサーなしでのご注文時にはカプラプラグをサービスパーツとして同梱しています

※上記写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

4. 完成見本

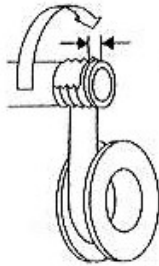
本セットは組立て式です。最終的には下の写真のようになります。



※上記写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

5. 設置前の注意事項

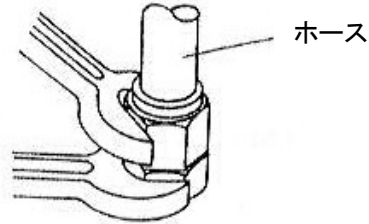
★ネジ部には必ずシールテープを巻いてください



先端のネジ1～2山はシールテープを巻かないように

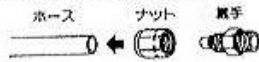
ネジの向きにそって少し引っぱりながら2～3回巻く

★ネジ部はスパナ等で締め付けてください。

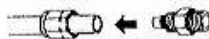


★ホース接続の仕方

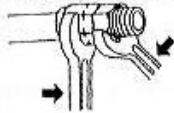
①ナットをはずしホースに通す
(ナットの向きを確かめて下さい)



②ホースを継手に差し込む
(奥までしっかり差し込んで下さい)

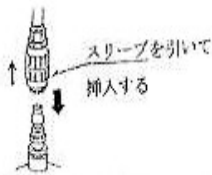


③ナットを締めつける
(スリキを使ってしっかり締めて下さい)



★ワンタッチカプラの使い方

<組付け方> ・ソケットのスリーブを引き、プラグを挿入してから、スリーブを離します。



<外し方> ・ソケットのスリーブを引き、プラグから引き離します。



AKIMist®“E”本体の液側カプラは下記要領で組み付け、取り外してください。

<組付け方> ・ソケットをそのままプラグにカチッと音がするまで押し込みます。



<外し方> ・ソケットのスリーブをプラグ側に押し込みます。

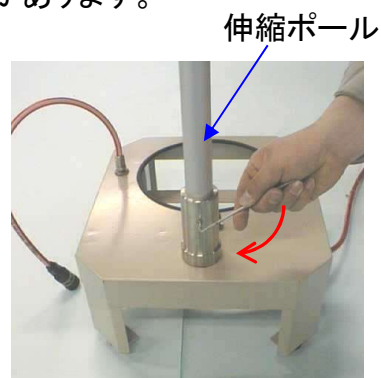


6. 組立方法

本品の組立ては、以下の要領で行ってください。

※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

- 1) 伸縮ポールをスタンド台に差し込み、付属の六角レンチで固定用ビスを締め付けてください。
固定用ビスの先端がポールに当たってから1/8周締め付けてください。強く締め付けるとポール破損の原因となります。

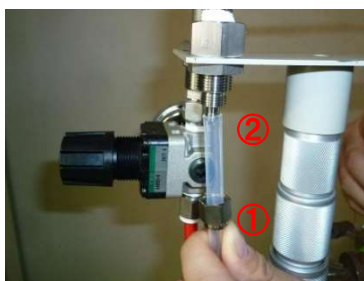


- 2) AE取付ユニットをポールに差込み、付属の六角レンチで固定用ビスを締め付けてください。
固定用ビスの先端がポールに当たってから1/8周締め付けてください。強く締め付けるとポール破損の原因となります。



- 3) 透明スパイラルホースをAE取付ユニットに取り付けてください。

- ① AE取付ユニットの継手キャップを外し、透明スパイラルホースに通してください。
- ② 透明ホースを継手の奥まで差し込んでください。
(注意)ホースの差込みが固めとなっておりますので、作業時に怪我をしないよう、十分にご注意ください。
- ③ 継手キャップをきつく閉めてください。



ホースを継手奥まで差し込み、



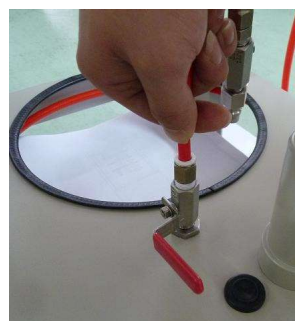
キャップをきつく閉めてください。
(最後はスパナで締め付けてください)

次頁へ続く↓

- ④赤ホースを噴霧用減圧弁下の継手に奥まで差し込んでください。



- ⑤もう一方の赤ホースをスタンド台の継手に奥まで差し込んでください。



- 4) 液加圧タンクに液体を入れてください。
タンクのキャップを開け、液体を入れてから
再びキャップをきつく閉めてください。



- 5) 液加圧タンクをスタンド台に載せてください。

次頁へ続く↓

6) 透明スパイラルホース先端のバルブAを
液加圧タンクの継手に接続してください。

バルブA



メスカプラのリング(丸印)を
押し下げてから、差し込むと
容易に接続できます。



7) スタンド台からのエアーホース(メスカプラ
継手)を、液加圧タンク上部に接続してください。



次頁へ続く↓

8) AKIMist®“E”をAE取付ユニットに接続します。
次の点にご注意ください。

①カプラは確実に取り付けられていますか？
(カチッと止まっていますか？)



②液側の取付部分に隙間がありませんか？



○ 隙間がない

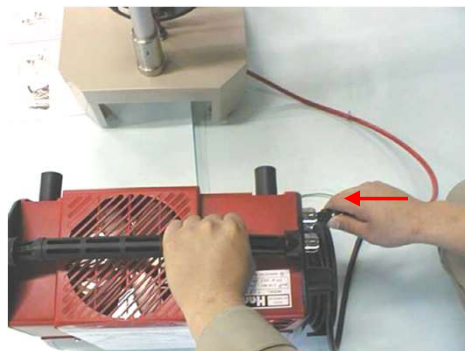


× 隙間がある

次頁へ続く↓

- 9) スタンド台足元から出ているホース
(エア供給用ホース)をコンプレッサー
又はエア配管へ接続してください。
(写真は別売のコンプレッサーです)

※サービスパーツとして、ホース末端にR1/4
(管用テーパネジ1/4インチオスネジ)のネジ継手を
付けています。
Rc1/4(管用テーパネジ1/4インチメスネジ)を
ご準備下さるか、サービスパーツとして同梱の
カプラプラグを使ってカプラ接続してください。
カプラには互換性がないものがあります。エア
が漏れる場合には適正なものに変更してください。



- 10) ポールの高さを調節してください。



締まる

ゆるむ

以上で、組立ては完了です。

「ご使用方法」に進んでください。

7. ご使用方法

1. ご使用開始時

※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

1) コンプレッサーを作動させてください。(空気を送ってください)

※液加圧タンク用減圧弁の圧力計の針が小刻みに動くことがありますが、異常ではありません。

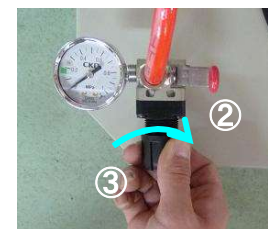
2) 液加圧タンク用の減圧弁を調節して、0.1MPaに設定してください。

- ① 青バルブを閉じてください
- ② 赤バルブを開けてください
- ③ 液加圧タンク用減圧弁のツマミを調整(回して)ください。

ツマミをカチッと引っ張ってから
ゆっくり右に回し、0.1MPaになったら
ツマミをカチッと押してください。

タンク圧力が高すぎる場合

- ① 減圧弁のツマミをゆっくり反時計方向に回してください
- ② ゆっくり青バルブを開けてタンク内の空気を抜いてください
- ③ 圧力が約0.1MPaまで下がったら、青バルブを閉じて減圧弁で圧力を調整してください



3) 透明スパイラルホース下のバルブAを開けてください。

4) スタンド台の赤バルブを開けてください。 (右写真赤○部)

5) 噴霧用減圧弁を0.2~0.5MPaに調節してください。

ツマミをカチッと引っ張ってから
ゆっくり右に回し、所定の圧力に
なったらツマミをカチッと押します。



以上で完了です。正常に噴霧していますか？

2. ご使用中

噴霧量を変えたいとき

噴霧用減圧弁のつまみを回し、圧力調整してください（下表参照）

空気圧力 (MPa)	噴霧量(L/hr)			
	AE-1	AE-2	AE-3	AE-4
	(03C)	(03C)	(03C)	(03C)
0.2	1.3	2.6	3.9	5.2
0.3	2.4	4.8	7.2	9.6
0.5	3.6	7.2	10.8	14.4

(注意)

※空気圧力は、0.2MPa～0.5MPaでご使用ください。

※上記以外の圧力で使用しないでください。濡れや水漏れの原因になります。

・噴霧を一時的に噴霧／停止したいとき

透明スパイラルホース下のバルブAとスタンド台の赤バルブを開／閉してください。

噴霧開始時は、先にバルブAを開け、次に赤バルブを開けてください。

噴霧停止時は、先にバルブAを閉じ、次に赤バルブを閉じてください。

・加圧タンクの液量に注意

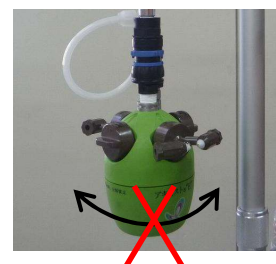
加圧タンク液面計から液が見えなくなったら、必ず液を補充してください。

(12ページ参照)

・AKIMist®“E”の回転に注意

AKIMist®“E”を回転させないでください。

回転させると、液ニップル部が緩む可能性があります。



3. ご使用終了時及び液補充時

※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

☆印はご使用終了時のみ、△印は液補充時のみ、
無印は両者共通の手順です。

- 1) スタンド台の赤バルブを閉じてください。
- 2) 噴霧用減圧弁のツマミを回し圧力を0にしてください。(右写真参照)
- 3) 透明スパイラルホース下のバルブAを閉じてください。
- 4) ☆加湿器下部本体の液を捨ててください。
- 5) コンプレッサーを停止させてください。



- 6) 下記のとおり液加圧タンク内の圧縮空気を抜いてください。(右写真参照)

- ① 赤バルブを閉じてください
- ② 青バルブを開けて、空気が抜け切るまで待ってください
- ③ ☆液加圧タンク用減圧弁のツマミを緩めてください

ツマミをカチッと引っ張ってから
ゆっくり反時計回りに止まるまで回し、
ツマミをカチッと押してください。



- 7) 液加圧タンク上部からカプラ継手を取り外してください。

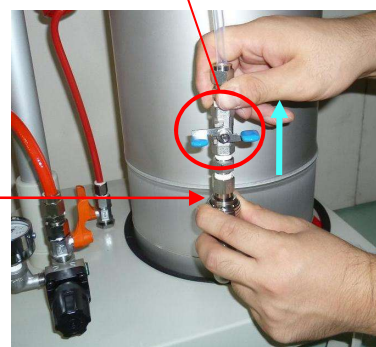
メスカプラの黄色リングを
引いてから抜いてください



バルブA

- 8) 透明スパイラルホース下のバルブAが閉じていることを確認しカプラを外してください。

メスカプラのリングを
押し下げてから抜いてください



- 9) ☆液加圧タンクの液を捨ててください。

10) △液加圧タンクに液を入れ、キャップを締めてください。

11) 7)、8)で外したカプラを再接続してください。

12) △10ページの「ご使用開始時」と同様の操作をして、噴霧させてください。

以上で完了です。正常に噴霧していますか？

8. お手入れ方法

★ AKIMist®“E”のお手入れについては、別紙ドライフォグ加湿器AKIMist®“E” TN取扱説明書をご参照ください。

9. 「故障かな？」と思ったら

ご使用中に以下の異常が発生したら直ちにコンプレッサーを止め、次の事項をお調べください。

(AKIMist®“E” TN取扱説明書26～27ページを併せてお調べください。)

こんなときは	ここをお調べください	なおしかた
噴霧しない あるいは すぐに噴霧 しなくなる	電源は入っていますか (空気は送っていますか)	電源を入れる (空気を送る)
	空気圧力は正常ですか	コンプレッサーの動作を確認する 噴霧用減圧弁の圧力を確認する
	液加圧タンクに水は入っていますか	水位が低いときは水を補充する
	接続部から空気、水が漏れていませんか	漏れ箇所を締め直す カブラの接続を確認する
間欠噴霧する	ノズルが目詰まりしている	ノズル掃除をする (お手入れ方法をご参照ください)
	空気と水の接続は正しいですか	それぞれ正しい方に接続する
霧が粗い	空気圧力は正常ですか	噴霧用減圧弁の圧力を確認する
ノズル先端より 水滴が落ちる	ノズル先端にゴミが付いていませんか	ノズルの掃除をする (お手入れ方法をご参照ください)
	空気圧力は正常ですか	03Cの場合 0.2～0.5MPaに調整する

10. 仕様

項目	仕様				備考
	AE-1 (03C)	AE-2 (03C)	AE-3 (03C)	AE-4 (03C)	
加湿量(L/hr)	1.3～3.6	2.6～7.2	3.9～10.8	5.2～14.4	空気圧力により 異なります
空気量(NL/min)	22～43	44～86	66～129	88～172	
質量	約13kg				
液加圧タンク	容量:18L 耐圧:0.7MPa 安全弁:ハネ式(0.4MPaで作動)				
圧縮空気耐圧	0.7MPa				
最大高さ	スタンド台防振ゴム付:2300mm				
	スタンド台キャスター付:2380mm				
材質	液加圧タンク	ステンレス鋼, FKM			
	加湿器	本体:PP樹脂等, ノズル:PPS樹脂及びOPFW樹脂等, Oリング:FPM, パッキング:FKM			
	ホール	アルミ			
	スパイラルホース	ソフトナイロン, PTFE			

※AKIMist®“E” TNの仕様は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。